

2013.09.26 No.226-2

名神高速道路・養老サービスエリアで 安全督励を実施

西濃運輸株式会社(本社／大垣市田口町1番地、社長／大塚委利)では、毎年恒例となっている名神高速道路・養老サービスエリアでの夜間の安全督励を、9月25日22時から26日2時にかけて実施しました。

当社では例年10月1日から1ヶ月間、労使・家族が一体となって事故防止のために「カンガルー運動」を展開しており、同運動を盛り上げる目的で、秋の全国交通安全運動の期間中に安全督励を行なっているものです。

当日は神谷正博専務取締役、舟口憲雄労働組合委員長をはじめとする労使約20名が参加して、グループ会社を含め上り線126台、下り線88台の合計214台の運行車両のドライバーに安全運行を呼びかけました。

「カンガルー運動」は今年で47回目。
安全督励は22回目(21年目)となります。



督励に訪れた大塚社長(右から2人目)



握手を交わし安全を誓うドライバー



掲載写真の画像データは以下の URL からダウンロードできます。

(10月15日まで)

<http://www.seino.co.jp/seino/press/yourou1.jpg>

<http://www.seino.co.jp/seino/press/yourou2.jpg>